

浜頓別町国民健康保険病院 新病院建設事業基本設計が完成しました



令和2年11月に策定した「浜頓別町国民健康保険病院新病院建設基本計画」を踏まえ、新病院建設事業基本設計を作成しましたので、概要を報告します。

計画概要

1 部門

病棟、外来、中央診療、リハビリ、栄養、居宅・訪問介護、デイケア、管理

2 診療科目

外科、内科、産婦人科、整形外科、眼科、小児科

3 病床数

一般病床 40床

4 建設地

中央南3番地・5番地・2番地の内・6番地の内

5 敷地面積

7837.23㎡ (病院、薬局敷地)

1412.32㎡ (南側飛地)

6 延床面積

4090.26㎡

7 構造・階数

RC (鉄筋コンクリート) 造

地上2階、塔屋1階

8 駐車台数

患者用73台、職員用53台、その他7台

基本理念

- 1 町内で入院機能を提供する唯一の医療機関として地域医療を確保するため、現在の診療体制を継続します。
- 2 町内の介護福祉施設等との連携を強化し、在宅医療、リハビリテーション機能の充実を図り、地域包括ケアシステムの構築を推進します。
- 3 大規模災害時において、医療活動を継続できる体制を確保し、地域医療の砦として拠点施設の役割を担います。

基本コンセプト

- 1 安心して快適に医療を受けられる病院
- 2 医療情勢の変化に柔軟に対応できる病院
- 3 災害に強い、安心安全な病院
- 4 スタッフにとって効率の良い病院
- 5 環境にやさしい病院



配置・動線計画

1 敷地の特徴

建設地は、まちの中心部で近隣にはバスターミナルや役場庁舎があり、町民や患者にとってアクセスしやすい位置になります。

敷地には十分な駐車スペースが確保され隣接する役場庁舎等のスペースも利用できます。

2 配置計画

役場庁舎等と同様に北向きに配置する計画とし、隣接する公共施設との統一感を図ります。

南北につきぬける車両動線を設けることにより、市街地からのアクセスが容易になります。

3 動線計画

ハイヤー・送迎車は庇に寄り付く計画とし、雨天等の影響から守られたアプローチ計画となります。

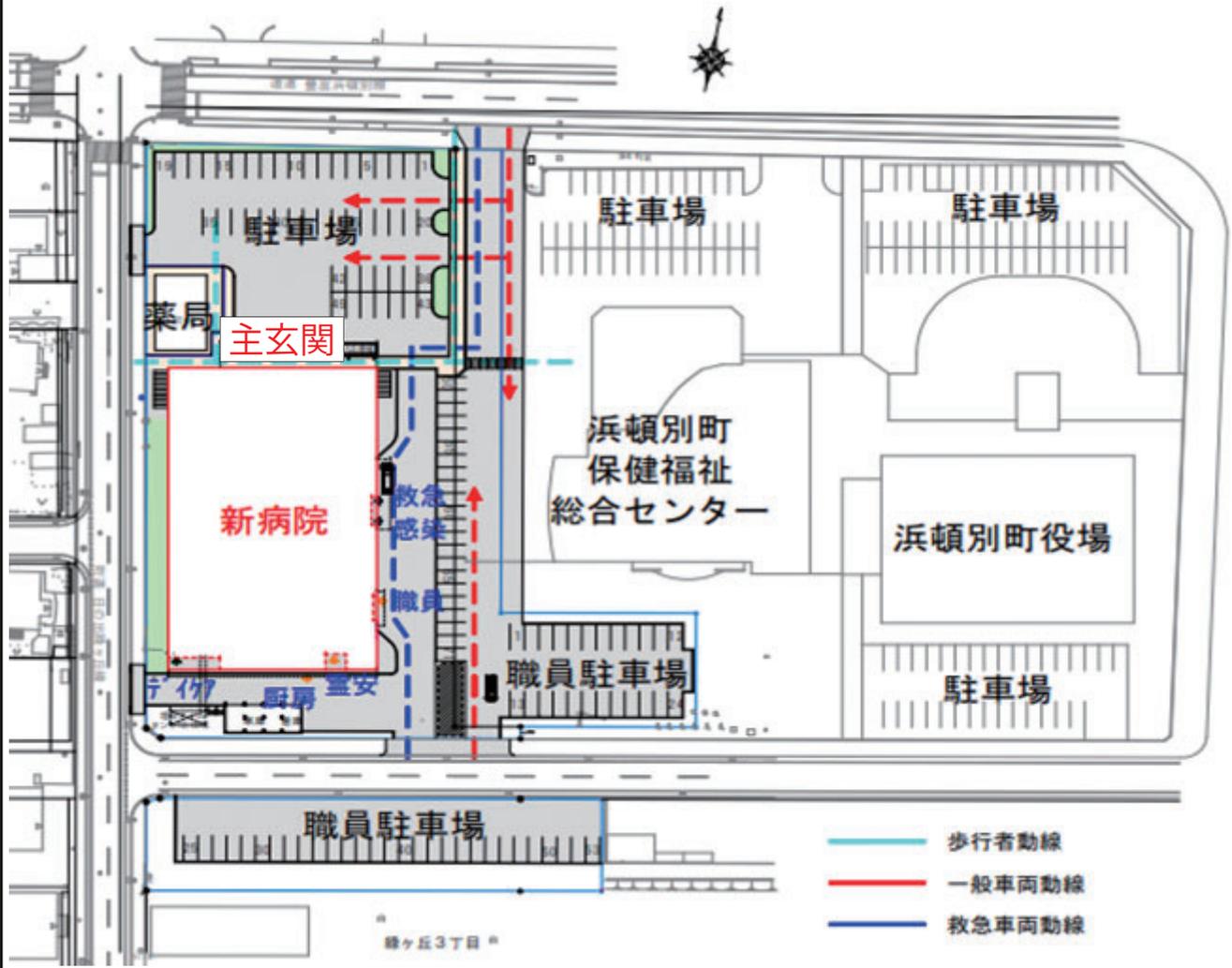
救急車両は北側道道、南側町道の両側から東側の救急玄関にアプローチできる計画とし、救急玄関前は緊急車両用の車線を整備します。

4 外構計画

十分な堆雪スペースを計画し、排雪ルートを確認します。

車いす利用者の駐車場はエントランスに近く利便性の良い場所に計画します。

歩道床面はぬれても滑りにくく、除雪のしやすい仕上げとします。



事業スケジュール

令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
業者選定	基本設計	実施設計	本体工事・外溝工事	開院準備
				R7年春開院予定

※外観デザインや面積などは実施設計で変更する可能性があります。

※次回発行の広報では各階平面図を記載する予定です。



問合せ 総務課病院建設推進室

TEL 2-2345